

緑が丘だより

2020年5月10日（日）

綾川町立綾上中学校

【学校教育目標】： 明るい未来を創造する 心豊かでたくましい生徒の育成

(<https://www.edu.ayagawa.ed.jp/ayakami-j/>)



この難局を乗り越えるために



どのようなジャンルの音楽にも、難曲と呼ばれる演奏者泣かせの曲があります。演奏者は作曲家からの挑戦状とも思える難曲に込められた仕掛けを少しずつひも解きながら、超絶技巧とも呼ばれるテクニックを身につけるべく、練習を積み重ねなければなりません。演奏する側としては、それを乗り越えることがある意味醍醐味となり、その演奏技術を身につけるために、皆さんの想像を絶するような努力の積み重ねをし続けるものなのです。

イタリアのピアニスト、マウリツィオ・ポリーニは、18歳の時、かの有名なショパンコンクールを審査員全員一致で優勝しましたが、その後10年間、彼は演奏活動を行いませんでした。通常はコンクールの優勝者ともなると、華やかなデビューが待っているのですが、彼は自分がまだ若く、さらなる勉強が必要であることを自覚して、直ちに多忙な演奏生活に入ることを避けたと言われています。その10年間の沈黙を破って出された録音は、ピアノ曲の難曲中の難曲と言われているショパン作曲の「エチュード（練習曲集）」。それはショパンからの挑戦状とも言える24曲の小品の集まりです。彼の演奏は一部の隙もないほどの緊張感で包まれており、冷静すぎるとも思えるほど一切の甘さを排除し、ぎりぎりまで贅肉をそぎ落としたような音と、洗練されたテクニックが駆使されていました。そんな衝撃的なデビューを果たした後、ヨーロッパ各地で行った演奏会から、彼のことを「絶対にミスタッチをしないポリーニ」と言うようになったとのこと。彼が10年間の沈黙の後に出した演奏を是非聴いてみてください。私には、氷のように研ぎ澄まされた鋭い感性で「エチュード」に立ち向かって行くポリーニの気迫が聞こえてくるのです。さらに、難曲に立ち向かっている彼の顔には、ほのかな笑みが浮かんでいるようにも思えてしまうのです。

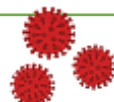
現在、新型コロナウイルス感染症拡大防止による臨時休業が再々延長されている最中です。皆さんには難局ともいえる、様々な我慢を強いられているところです。私はこの新型コロナウイルスは、私たちに難解な課題を課しているように思えるのです。その課題とは何か、その課題に向き合って自分にできることを実行しながら、この時を過ごすべきではないでしょうか？

例えば、この臨時休業を悲観的に考えてしまうのではなく、これこそチャンスが到来したと捉えてみるのはどうでしょうか？例えば、家庭での学習習慣が身についていない人にとっては、この臨時休業は絶好のチャンスといえませんか？その他にも、今までは時間がなくて「無理」と思っていたことに挑戦することができるのです。何もかもがマイナスではなく、この臨時休業をそのようなチャンスと捉えて欲しいのです。

ポリーニがショパンコンクール優勝から10年間、難曲に立ち向かう彼がどんな思いを胸に秘めながら10年間3650日余りを過ごしたのか、想像することはできません。しかし、その積み上げてきた努力の成果である演奏を聴き、その思いを察すると、私たちは今のこの時間を無駄にすることはできないと思うのです。今、ぶち当たっている難局を乗り越えるために、私たちにできることは何なのか考えてみて欲しいのです。6月からの学校再開に向けて準備をしっかりと！



新型コロナウイルスとの闘い 2



先日、学校の臨時休業について香川県知事の浜田恵造さんから生徒と保護者の皆さんに手紙が届きました。PTA総会要項に同封して送付させていただきました。その中には、学校という「学びの場が、クラスターになることは、絶対に避けなければなりません。」など、浜田知事さんの思いが切々と綴られていました。学校再開が延期された今、新型コロナウイルス感染症対策として、「新しい生活様式」というキーワードが出てきたところです。感染防止の3つの基本である「身体的距離の確保」「マスクの着用」「手洗い」を一人一人が実践しつづけることが大事になります。TVのCMにも浜田知事が出演して訴えています「うつらない、うつさない」一人一人のウイルスに対する意識を常に高くもって「新しい生活様式」を確立しましょう。



奉仕作業への協力をお願い



新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う臨時休業及び各種の行事の自粛に伴い、本町の小中学校では運動会の中止が決まっております。また、生徒全員と保護者の方々による、PTA奉仕作業の草刈りについても中止としました。しかし、校舎内の雑草等をそのままにして夏を迎えることは、学校環境を非常に悪くしてしまうのではないかと懸念があります。そこで、有志の方々による奉仕作業を、予定していた5月16日(土)8時～9時に実施したいと思います。作業の内容は、草刈機をお持ちの方による平坦な面の草刈り及びくま手等でその草の収集です。ご協力いただける方で、ご自宅に草刈機がありましたらご持参の上、中学校まで足をお運びいただけましたら、ありがたいです。参加の際は、マスクの着用をお忘れなくお願いします。詳細は、本日のプリントをご覧ください。



桜まつり開催される！



4月9日(木)、入学式が終わって時間がない中でしたが、本校の伝統行事の一つ、「桜まつり」が開催されました。その昔、夢咲良坂に壁画が無かった時代、南運動場の西側には何本もの桜並木が連なり、当時の「桜まつり」は桜が満開の下に給食を持ち出してお花見給食を行っていました。臨時休業に入る手前で開催された今年の「桜まつり」、2・3年生による部活動紹介や、生徒会役員が1年生の一人一人に対してインタビューも行いました。「好きな給食は?」「入ろうと思っている部活動は?」「好きな教科は?」の質問に対して、1年生の初々しい受け答えが印象的でした。



【生徒会長のあいさつで開会】

【部活紹介の直前で緊張!】

【次は部活紹介で自分の出番!】

【1年生からお礼の言葉】



今こそメディアの活用を!



新型コロナウイルス対策における臨時休業中において、よく聞かれるようになった言葉に「オンライン」という言葉です。「オンライン授業」「オンライン会議」「オンライン診療」「オンラインショッピング」等々、ちまたで頻繁に使われるようになりました。「ゲーム」や「Youtube」など、普段はその利用への注意が必要とされているところですが、今はそのメディアの活用を通して、この臨時休業中の時間を有効活用が言われています。最近、綾川町の防災行政無線放送で13時から「ラジオ体操」が放送されています。それを活用することもメディアの活用になります。さらには文科省や県教育センター等からも、応援サイトが作られています。この機会に様々なメディアを活用して学習してみましょう! 6月から再開される学校生活にきっと役立つはずです。



【子供の学び応援サイト】
文部科学省 HP



【家庭学習支援サイト】
県教育センターHP